

Part 1 基本情報

1. モンゴルプロフィール

- | | |
|------------|---|
| (1) 正式名称 | (和文)モンゴル国
(英文)Mongolia |
| (2) 政体連邦 | 民主制 |
| (3) 首都 | ウランバートル |
| (4) 面積 | 156万4116平方km |
| (5) 人口 | 305万7778人(2015年統計年鑑) |
| (6) 民族 | モンゴル人(全体の95%)及びカザフ人等(5%) |
| (7) 言語 | モンゴル語 |
| (8) 宗教 | チベット仏教(ラマ教)等(1921年の革命後は勢力衰退していたが、民主化(1990年以降復活。92年2月の新憲法は信教の自由を保障。) |
| (9) 略史 | <p>1911年 辛亥革命、中国(清朝)より分離、自治政府を樹立</p> <p>1919年 自治を撤廃し中国軍閥の支配下に入る</p> <p>1921年 活仏を元首とする君主制人民政府成立(モンゴル革命)</p> <p>1924年 活仏(カツブツ)の死去に伴い人民共和国を宣言</p> <p>1990年 複数政党制を採用</p> <p>1990年 大統領制に移行、初代大統領にP.オチルバトを選出</p> <p>1992年 モンゴル国憲法施行(1月13日採択)
国名変更(モンゴル人民共和国→モンゴル国)</p> <p>1992年 第1回総選挙(与党人民革命党の圧勝)</p> <p>1993年 大統領選挙で初代大統領P.オチルバトを再選出(民主党员)</p> <p>1996年 第2回総選挙(野党民主連合の大勝)</p> <p>1997年 大統領選挙でN.バガンバンディを選出(人民革命党员)</p> <p>2000年 第3回総選挙(野党人民革命党の圧勝)</p> <p>2001年 大統領選挙でN.バガンバンディを再選出</p> <p>2004年 第4回総選挙(人民革命党と民主連合党平等)</p> <p>2005年 大統領選挙でN.エンフバヤルを選出(人民革命党)</p> <p>2008年 第5回総選挙(人民革命党の大勝)</p> <p>2009年 大統領選挙でTs.エルベグドルジを大統領に選出(民主党)</p> <p>2011年 人民革命党が人民党に名前を変更</p> <p>2011年 旧人民革命党の一部の党员が人民革命党を設立</p> <p>2012年 第6回総選挙(民主党の大勝)</p> <p>2013年 大統領選挙でTs.エルベグドルジを大統領に選出(民主党)</p> <p>2016年 第7回総選挙(人民党の大勝)</p> |
| (10) 在留日本人 | 464名(2016年10月現在) |
| (11) 気候 | 大陸性気候であり、年間を通じ雨量が少なく、空気が乾燥している。最も寒いのは1月(全国平均-20~-33度)、最も暑い時期は7月(全国平均18~28度)である。夏から秋は一般に湿気のない爽快な日が多く、年間を通じ最も過ごしやすい季節となる。ちなみにモンゴル人は秋を好んでアルタン・ナマル(黄金の秋)と称している。冬は日中でさえ相当に冷え込むが、ウランバートル市内の主な建物には暖房が完備されているので室内にいるかぎり寒さの心配はない。 |

春(4～5月)は、突風、砂嵐、あるいは気圧の絶えざる変化に悩まされる。ウランバートルにおいて新緑が始まるのは、5月下旬頃からである。全域の年間平均気温は-2.9度であるが、地域により異なる。年間降水量は、北部のハンガイ山脈および北方のハンガイ草原帯は400mm以上、ゴビ砂漠等南部は100mm以下、ハンガイ山脈の南のヘルタル草原帯はその中間の雨量。

【参考】「外務省ホームページ-各国・地域情勢」外務省
『最新世界各国要覧 10訂版 2000』東京書籍

2. 業務のための基礎データ

(1) JICA 事務所の概要(モンゴル事務所)

住所 : 7F, Bodi Tower, Sukhbaatar Square 3, Ulaanbaatar, Mongolia
郵便物宛先 : c/o Central P.O.Box 682, Ulaanbaatar 13, MONGOLIA
連絡先 : 国番号 : 976
市外局番 : 11
電話 : (976-11) 325939, 312393
FAX : (976-11) 310845
URL : <http://www.jica.go.jp/mongolia/index.html> (モンゴル事務所)
E-mail : mg_oso_rep@jica.go.jp
勤務時間 : 9:00～17:30(休憩時間 12:30～14:00)
2016年の休日 : 下記祝日と土曜日、日曜日

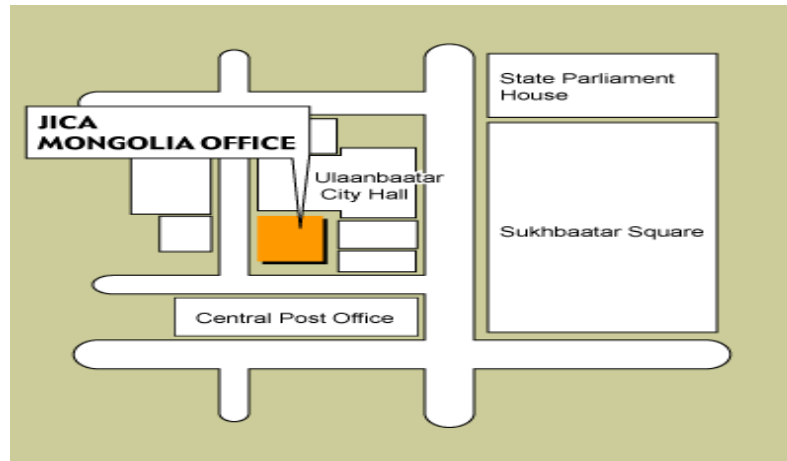
2016.01.01	元日
2016.02.09	旧正月(Tsagaan Sar)
2016.02.10	旧正月(Tsagaan Sar)
2016.02.11	旧正月(Tsagaan Sar)
2016.03.08	国際婦人デー
2016.04.29	昭和の日
2016.05.05	子供の日
2016.06.01	子供の日
2016.06.29	総選挙投票日
2016.07.11	国家記念日(Naadam)
2016.07.12	国家記念日(Naadam)
2016.07.13	国家記念日(Naadam)
2016.07.14	国家記念日(Naadam)
2016.07.15	国家記念日(Naadam)
2016.09.19	敬老の日
2016.10.19	地方選挙の日
2016.10.31	チンギスハーンの日
2016.12.29	行政機関の休日(年末休暇)国家独立記念日

事務所までの交通 : 【空港から】車で約1時間

【空港以外から】日本大使館から車で約20分

鉄道駅から車で約30分

(2) JICA 事務所周辺地図



- (3) 日本との時差、
サマータイム
- 日本との時差：-1
サマータイム：あり。日本との時差はなし。(3月下旬～9月下旬)

(4) 祝日、官公庁の祝日 (労働法で定められている)

2016.01.01	元日
2016.02.09	旧正月 (Tsagaan Sar) (毎年異なる)
2016.02.10	旧正月 (Tsagaan Sar) (毎年異なる)
2016.02.11	旧正月 (Tsagaan Sar) (毎年異なる)
2016.03.08	国際婦人デー
2016.06.01	子供の日
2016.07.11	国家記念日 (Naadam)
2016.07.12	国家記念日 (Naadam)
2016.07.13	国家記念日 (Naadam)
2016.07.14	国家記念日 (Naadam)
2016.07.15	国家記念日 (Naadam)
2016.10.31	チンギスハーンの日 (毎年異なる)
2016.12.29	行政機関の休日 (年末休暇) 国家独立記念日

官公庁の休日：上記祝日と土曜日、日曜日

- (5) ビジネスアワー
- UB 市組織：8:00～17:00 (休憩 12:00～13:00)
官庁：8:00～17:00 (休憩 12:00～13:00)
銀行：9:00～18:00 (休憩なし) 支店による
商店：およそ 9:00～19:00

- (6) 言語
- 業務：モンゴル語 (官庁によっては一部英語可)
ホテル、買い物、食事：モンゴル語 (大手ホテルは英語可)

- (7) 通貨
- 通貨：モンゴル・トゥグルグ (Mongolian Tugrug)

- (8) 通貨レート 為替レート: 1 米ドル = 2319.29 トウグルグ
1 日本円 = 22.31 トウグルグ
(2016 年 10 月 19 日 モンゴル銀行レート)
- (9) 関係機関 【在外日本関係機関】
- 日本大使館
住所: Olympic Street, Sukhbaatar District, Ulaanbaatar, Mongolia (Central P.O. Box 1011)
電話: (976-11) 320777 FAX: (976-11) 313332
URL: <http://www.mn.emb-japan.go.jp/>
- (10) 有用サイト
- <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html> (外務省「各国・地域情勢」)
 - <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> (外務省「渡航関連情報」)
 - <http://www.mongoliatourism.gov.mn> (モンゴル政府観光局)
 - <http://www.parliament.mn/> (国会)
 - <http://www.zasag.mn/> (モンゴル国政府機関)
 - <http://www.nso.mn/v3/> (モンゴル国統計局)

Part 2 生活情報

※「生活情報」は特に記載のない限り、JICA事務所のあるウランバートルの情報を中心に掲載しています。

1. ホテル、住宅



1-1 ホテル

モンゴル的高级ホテルでは、英語が通じる。料金はシーズンによって変わるので、その都度問い合わせること。また、6月～8月末までは観光客で込み合うため、価格が割高になるとともに、近年の外国投資の増加によりビジネス客の利用も増加傾向にあることから、早めの予約が必要である。赴任当初はホテルから徒歩で勤務先へ移動できるように、街の中心部にあるホテルを選ぶとよい。また、エコノミーホテルはサービスが十分では無い場合や快適ではない場合が多い。外国人がよく利用するホテルは次のとおりである。(詳細はPart 3イエローページ参照)。

Yellow Page

- ・ Ulaanbaatar Hotel (ウランバートル・ホテル)
- ・ Bayangol Hotel (バヤンゴル・ホテル)
- ・ Best Western Premier Tuushin Hotel (トゥーシンホテル)
- ・ Urgoo Hotel (ウルゴー・ホテル)
- ・ RAMADA Ulaanbaatar Citycenter Hotel (ラマダウランバートルシティセンターホテル)
- ・ Puma Hotel (プーマホテル)
- ・ Blue Sky Hotel (ブルースカイホテル)
- ・ Continental Hotel (コンチネンタル・ホテル)
- ・ Chinggis Khaan Hotel (チンギスハーン・ホテル)
- ・ Corporate Hotel (コーポレート・ホテル)
- ・ Shangrila Hotel (シャングリラ・ホテル)
- ・ Kempinski Khan Palace Hotel (ケンピンスキーハーンパレスホテル)

1-2 住宅事情

ウランバートル市内の住民の約半分がアパートに、半分は「ゲル」という伝統的な住居に住んでいる。ゲル地区は電気があるが、下水道が完備されていない。最近では独立家屋の住宅建設も進んでいる。

賃貸物件を取り扱う主な不動産会社は複数あるが、一般的に外国人は友人や知り合いの紹介によってアパートを借りることが多い。家賃は敷地、部屋の大きさにより約月 700～1500 米ドルである。高級アパートは、建物の入口にオートロックが付いているとともに警備員が常駐するなどセキュリティが整っている所が多い。

一般的なモンゴル人が住んでいるアパートの管理は、各地域の住宅管理公社が行っており、公社によっては公共部分の汚れが目立ち、階段の電球がなかつ

たりするところもある。近年、車両の増加による渋滞が激しくなっていることから、住居の選択においては、立地や日常良く利用する道路の渋滞の状況について確認することを勧める。

1-3 住宅の探し方

不動産会社を訪ねるとすぐに物件を見せてくれる。不動産会社の情報に限らず、ほかの日本人の住宅の家主が、何軒も家を持っていることも多いので、知人や現地の人からの情報にも注意するとよい。代表的な不動産会社は次の通り。(詳細は Part 3 イエローページ参照)



- ・ “Besta Real Estate” LLC <http://www.besta.mn/>
- ・ “UB Zuuch” <http://www.ubzuuch.mn>
- ・ Mongolia Properties <http://www.mongolia-properties.com>
- ・ Mongolian Real Estate <http://www.mongolianrealestate.com>

1-4 住宅選定上の留意点

- ・ アパートの管理人がいること。
- ・ ドアは二重で複数の施錠がなされ、のぞき穴が付いていること。
- ・ 鉄製の扉であること。
- ・ 各部屋のセントラルヒーティングの効きがよいこと(冬の厳しい寒さを考慮)。
- ・ 固定電話が既設されていること(インターネットを利用する場合には、インターネット利用が可能な環境かどうかを事前に確認することを勧める)。
- ・ 新築のアパートは水の出が悪く、温水が出ないなどのトラブルが多い選定の際には留意すること。
- ・ きちんとしたセキュリティーサービスがあること。
- ・ 周辺の治安状況をよく確認すること。

1-5 住宅の契約

一般契約期間は1年～2年間である。家賃は一括払いが好まれる。家主と交渉すれば、全額を前納しなくても、3カ月ごと、または月払いが可能な場合がある。多くは家具付きの物件であるが、付いていない場合は家主に手配を依頼するとよい。

1-6 ガス、水道などの手続きと管理

電気、水道代などは家主が立て替える場合が多い。電気、水道の故障は家主を通して直してもらう。また電気については、配電の線が細くショートしやすいので、大容量の電化製品の持ち込みは避けるべきである。

ゴミはアパートのダストシュートなど決められたところに分別せずに捨てる。ガスは使用していない。

1-7 家電

(1) 電圧

220V、50～60Hz

(2) コンセント、モジュージャックの形

ヨーロッパ仕様 タイプ:Cが多い。プラグの形式は丸い2穴が主流。

(3) 家電製品

ほとんどの電化製品は現地で購入できる。

1-8 その他

停電や断水(毎年6月から8月末まで冬準備時期で暖房システムの定期的な修理を行う)が定期的にある。停電時用の非常灯、ろうそく、カセットコンロ等を常備する必要がある。断水時の蛇口の閉め忘れから水漏れの恐れがあるので十分な注意が必要である。

2. 衣料、理容



2-1 衣料全般

(1) 一般事情

ウランバートルの年間平均気温は-2度であるが、夏には最高気温が30度を超える一方、冬は最低気温-30度を下回る。寒暖の差が大きいので、衣服の準備には気を配る必要がある。防寒着は現地で購入する方が安価である。

輸入衣料(欧米、韓国、中国製)が販売されている。そのため、現地でほぼ全種の衣料を調達できる。

ジャンパー、コート、ブーツなどの革製品、毛皮の帽子、マフラー、セーター、手袋などの防寒着類は日本よりも安く購入できる。またカジュアルウェア(ジーンズ、スウェットシャツなど)も現地で購入可。

(2) その他の留意点

冬期の室内は乾燥がひどく、衣服に静電気が溜まりやすいため、加湿器の購入や静電気除去などの対策を取ることを勧める。また、夏期の日差しが強いため、帽子、サングラス、また日焼け止めも必需品である。

2-2 礼装

(1) パーティー

スーツ、ワンピース、またはデール(民族衣装)を着用する。

(2) 式典

モンゴルの祝祭日は、1月1日(正月)、2月中旬の3日間(旧正月)、3月8日(婦人日)、3月18日(軍隊の日)6月1日(母子の日)、7月11～15日(ナーダム際)、11月4日(チンギスハーンの日)、12月31日(New Year)である。また、配属先によっては機関の創立記念日を盛大に祝うところもある。

祝典での礼装はスーツ、もしくはタキシードである。女性は着物が一揃いあるとよいが、なくても問題はない。

(3) 冠婚葬祭

スーツまたはデールでよい。

(4) その他の留意点

民族衣装のデールを現地にて1着作っておくと便利である。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

クリーニング店は多数あり、ドライクリーニングやしみ抜きを依頼できる。日本の機材を導入している店などの仕上がりは特に問題は無いが、一般的な店ではあまり期待できない。

洗濯機は全自動式と手絞り式が出回っているが、通常、賃貸住宅の備え付け家具にふくまれているので、特に購入する必要はない。洗剤や漂白剤は、ヨーロッパとアジアの輸入製品が豊富に出回っている。ウール製品専用の洗剤もある。主なクリーニングにはMetro Express、ЭДКC等がある。(詳細はPart 3イエローページを参照) アイロン、電気洗濯機は入手可能であり、持参の必要はない。

Yellow Page

(2) 仕立て、修繕

民族衣装は多くの場所で仕立ててもらえる。紳士服、婦人服の仕立ても可能である。革製品は工場あるいは個人の職人によって仕立ててもらえる。

(3) 保管

湿気がないのでカビ対策は不要であるが、セーターなどに虫がつくことはあるので防虫剤はあったほうがよい。革製品は手入れを怠ると硬くなりやすい。

2-4 美容院、理髪店

町中の「Үсчин」と書かれている場所は殆ど美容院である。なかでも、高級レベルの美容院は次のとおり。(詳細はPart 3イエローページを参照)

Yellow Page

- ・ Chaming Beauty Salon
- ・ Greace Salon
- ・ Baigal Beauty and SPA
- ・ Kawa Japanese Beauty salon & SPA
- ・ Koreana Hair & Beauty Salon
- ・ Matrix Salon
- ・ Seoul Hair Salon

これら人気店の技術レベルは比較的安定している。カット料金は、高級レベルで30,000~50,000Tg、市内5000~20,000Tgほどである。

3. チップ



3-1 チップ事情

- (1) 習慣の有無
チップの習慣はない。
- (2) 各種サービスに対するチップ
必要ない。

4. 食生活



4-1 外食

(1) 一般事情

ウランバートルではモンゴル料理に加え、日本料理、中国料理、ロシア料理、韓国料理、インド料理、メキシコ料理、タイ料理、アフリカ料理、さらにはピザやハンバーガーなどのファーストフード、バーベキューなどもあり、種類は豊富である。また、バー、ディスコも多数ある。ただし、酔っ払い客に絡まれたり、スリなどの犯罪被害を受けたりすることもあるので注意が必要。観光シーズンの時期である6月から9月末については、大人数で利用する場合人気のあるレストランは事前に電話で予約をしたほうが無難である。

(2) 飲食店

各ホテル内にレストランがある。主なレストラン、喫茶店は次のとおり。(詳細は Part 3 イエローページを参照)

<モンゴル料理>

- ・ Gobi
- ・ Green Olive
- ・ MB beer plus
- ・ Modern Nomads Mongolian Restaurant(チェーン店で姉妹店が複数あり)

<日本料理>

- ・ 味仙
- ・ HANA
- ・ NAGOMI
- ・ TOTOYA Dining
- ・ SAKURA
- ・ SAKURA Bakery
- ・ YAMATO

<アジア料理>

- ・ Biwon Restaurant
- ・ Central Garden
- ・ Namaste
- ・ Oriental Treasure
- ・ The BULL

Yellow Page

<洋食・カフェほか>

- ・ Bluefin Le Bistro
- ・ Code Patisserie & Plus
- ・ Green Zone
- ・ Loving Hut
- ・ Monet
- ・ Rosewood
- ・ Veranda

4-2 食料

(1) 一般事情

ウランバートルに関しては、地区ごとにスーパーマーケット、商店、食料品ザハ（市場）等が数多くあり、日常生活に必要な食料品と飲料の入手が可能。

近年、食材は輸入加工品も含め、かなり豊富に出回りつつある。ただし、食肉、野菜等については食品衛生の基準に満たしていない食品ザハもある。

なお、賞味期限が切れたものや鮮度の悪いものを販売していることもあるので、購入時には自分でよく確かめること。

(2) 主な食品の購入可能な場所

<パン、めん類>

パンは常時入手できる。モンゴル産の黒パン、韓国系の菓子パンなども出回っている。めん類ではスパゲッティ・モンゴルめんは一般食品店で購入可。

<米>

ウランバートル市では比較的入手しやすい。中国米や韓国米が主流だが、時々日本米も出回っている。

<肉>

羊肉や牛肉が主だが、鶏肉や豚肉、馬肉も売られている。「骨付き」の量り売り(kg 単位)が現地では一般的。韓国系スーパーでは挽き肉やスライス肉も販売されている。ハム、ソーセージ、ベーコンの食肉加工品は種類も豊富に出回っている。

<野菜>

ジャガイモ、タマネギ、ニンジン、ビートの根菜類のほか、キャベツ、トマト、キュウリ、もやしなども一年中見られるようになった。ウランバートル市内の一部食品市場（メルクーリザハ）では、市内近郊で栽培された野菜や北京からの輸入品の野菜（大根、白菜、ネギ、ピーマン、ナス、ホウレンソウ、ブロッコリー、カリフラワー、ニンニク、香菜など）も出回っているが、菜類をはじめ、真冬には野菜の流通量が減る。

<牛乳・乳製品>

モンゴルでは「ステイツァイ」と呼ばれるミルクティーを日常的飲む習慣があ

るので牛乳を多く使う。最近では箱入りのモンゴル製、ロシア製のミルクが販売されており長期保管が可能になるなど使い易い製品が多く販売されている。

乳製品については、モンゴルの伝統的な乳製品(馬乳酒、ウルム、アーロールなど)はウランバートル市内のスーパーマーケット、大手食品市場等で販売されている。ヨーグルト、チーズ、バターなどはモンゴル製品、輸入品も含め豊富に出回っている。

<果物>

輸入リンゴ、オレンジ、バナナは一年を通して出回っており、時期によってはイチゴ、キウイ、スイカ、モモ、ブドウなどが出回る。また、秋には地方で野摘みされたブルーベリーや「チャツアルガン」と呼ばれるサージ、苺桃などが出回り、風物詩となっている。

<魚介類>

内陸国であるため魚介類は少ないが、スーパーマーケット、特にメルクーリザハには一年中冷凍魚を売る専用コーナーがある。ウランバートル市内一部店舗ではキャビア、イクラ、スモークサーモンなどのロシア食品や中国などのエビ、イカの冷凍食品を置いていることもある。

<調味料>

みそ、しょうゆ、みりん、だしの素など日本の調味料を入手できる店は「スカイプラザ」や「エブリデイ」などがあるが、品数は多くは無く高価。それ以外の調味料(塩、砂糖)は十分入手できる。食用油はロシア製、韓国製など豊富に出回っており、オリーブオイルもある。また、各種スパイス類もウランバートル市では輸入品が多く出回るようになっているが、質などにこだわる場合は日本からの持参が望ましい。

<酒類>

国内製品では特産品のアルヒ(モンゴルウオッカ)のほか、ドイツとの技術提携によるドラフトビールも出回っている。また、外国産、特にヨーロッパの酒類も豊富で、ビール、ウオッカ、ワイン、ウイスキーなどひとつとおり揃う。

日本酒や韓国焼酎については一部の日本料理店、韓国料理店や高級スーパーなどで入手できる。

<飲料水>

水道水を煮沸すれば安全であるが、ミネラルウォーターが国内製品も含め、豊富に出回っている。

(3)食料の入手

本格的な日本食品を販売している店はない。下記の店は日本人にも買いやすい商品を揃えている。

<日本食品の入手先>

「メルクーリ」市場

所在地: スフバートル地区サーカスの右側

営業時間:10:00~19:00

備考:ヨーロッパ等海外からの食品、スパイスなど殆どの食料品がある。日本の食材を扱っている店も入っていて、近郊で栽培しており日本料理にも使う野菜類も売られている。値段は高いが、みそ、しょうゆ、ポン酢、お茶、みりん、料理酒、スポーツドリンクなどを置いている場合もある。

「エブリデイ」スーパーマーケット

所在地:支店①バヤンズルフ区、テレルジ行道の途中。支店②ナライハ区、テレルジ行道の途中。

営業時間:10:00~20:00

備考:UB 市内 5 箇所に支店がある。日本食が豊富にある。

<食料品市場(フスニーザハ)>

市内の地区ごとにある。肉や野菜などの食料品が豊富でまた、ロシアから輸入されてきた海水魚などを売っていることもある。混雑時にはスリに注意。

<食料品店(フスニーデルグール)>

市内のどこにでもある。「国営デパート」の 1 階も食料品売り場になっている。「NOMIN」、「MINII DELGUUR」、「MAKC」、「SANSAR」食品店でも買い物が出来る。

4-3 食器、調理器具

(1)食器、調理器具などの入手

冷蔵庫などの電気製品は、現地での入手が可能である。調理器具、食器類も現地での調達が可能である。(食器店の詳細は Part 3 イエローページを参照)

<代表的な食器店>

 Yellow Page

- ・ Tescoma チェコ食器店
- ・ Naran Mall, Naran Plaza
- ・ Nomin デパート

Sunday Plaza, Narantuul ザハ(市場)ではもっと安価なものが手に入る。

(2)日本から持参したほうがよい食器、調理器具

基本的な食器、調理器具は現地で調達できる。なお日本から持参する場合、電圧が異なるので変圧器を使用する(モンゴルは 220V・50Hz、プラグはコンチネンタル C タイプが主流であることに留意する)。

5. 生活用品の購入



 Yellow Page

5-1 家電製品

ほとんどの電気製品は現地調達が可能。主な電気製品店は次の通り。(詳細は Part 3 イエローページを参照)

- ・ Nomin Electronics
- ・ PC mall

- ・ BSB Electronics
- ・ Next Electricins
- ・ IT Zone

もっと安価なものがほしい場合は Sunday Plaza、ザハなどでの購入が可能。

5-2 家具

殆どの家具は現地で購入可能である。基本的に輸入家具で個人営業も盛んになっている。必要ならば通信販売で購入できる。(家具店の詳細は Part 3 イエローページを参照)

<代表的な家具屋>



- ・ Misheel Expo Center
- ・ Anun
- ・ Top Mebel Center
- ・ Shine songolt

5-3 日用品、雑貨

ウランバートル市、ダルハン市、エルデネット市では殆どの日用品と雑貨類を購入することが可能。上記以外の地方に住む場合は、事前に必要な物資をウランバートル市などで準備したほうが良い。

5-4 工具、素材

工具は日本ほど種類が豊富ではないが、基本的なものはひとつお揃えされる。ドライバー、のこぎり、かなづち、釘、ネジ類は値段も安く、Hermes、Jobi Shop、Euro Standart、Nomin Standart 等の建築工具、素材店で販売しているので、家電製品や家具の補修、修理も可能である。布地類、機材類はほとんど入手できる。

6. 金融機関



6-1 金融機関

(1) 銀行

国際機関や外国企業が一般的に利用する銀行は Trade and Development Bank、Golomt Bank、Khaan Bank、Khas Bank である。外国人は外貨(米ドル)口座を開くことができる。ただし、口座の種類に基づき、利息が付く口座と付かない口座がある。また、現金(外貨)引き出しには、銀行内規により手数料の支払いを求められる。(銀行の詳細は Part 3 イエローページを参照)



- ・ Trade and Development Bank (TDB)
- ・ Golomt Bank
- ・ Khaan Bank

- ・ Khas Bank

(2) 口座の開設と閉鎖

個人の口座としては普通預金口座の開設が可能。口座開設の場合、旅券の写し、3×4 サイズの写真 1 枚、最低預金 10～50ドルを持参して、銀行で所定様式を記入すれば開設ができる。口座の閉鎖については預金口座の閉鎖申請を提出するのみで閉鎖できる。

(3) 小切手

小切手口座については一般的に個人でも、企業でも開設可能。銀行から小切手を発行してもらえる。

(4) 換金方法

銀行または市内数カ所にある換金所で換金できる。換金手数料はない。現金を持っていけば換金できる。円、米ドル、ルーブル、元、ウォン、ユーロなどの換金が可能。但し、換金所によって多少レートの違いがあるのと、小額紙幣での両替の場合はレートが悪い場合が多い。

6-2 クレジットカード

ほとんどの大手ホテル、商店、一部のレストランではVISA, Master Card, JCB等が使用できる。クレジットカードの表示があっても使用できないところが多いので、事前に確かめる必要がある。基本的に使用時に手数料はかからないが、まれに手数料を徴収される場合がある。また、銀行によってカードから現金を下ろす時、手数料がかかることがある。

7. 交通事情



7-1 交通手段

(1) 一般事情

市内の交通機関としては、バス、トロリーバス、タクシーがある。バスプリペイドカードを購入すれば乗車距離に関係なく500トゥグリク(Tg)、トロリーバスは300トゥグリク(Tg)で、朝7:00から22:00過ぎまで運行している。バスが増え、混雑は多少緩和されたものの、車内ではスリに対する注意が必要である。

タクシーは走行メーター制で、1kmあたり800Tgであるが、ホテルからタクシーを呼ぶと1km分追加される。白タクはタクシーとほぼ同じ値段であるが、タクシーより安い場合もある。

市外へは鉄道、長距離バス、国内航空などの公共交通を利用する。鉄道は、中国、ロシアへ続く南北に1本、途中分岐してエルデネット市へ走っている。

全国的に道路の舗装率が低いため、バスでの移動は快適とは言い難い。

国内航空便は、数県のアイマク(県)の中心まで週1～2便飛んでいる。

(2) 空港から市内への移動

チンギスハーン国際空港から市内までの距離は12km。バスとタクシーがある。

タクシーを利用する場合はモンゴル語のみとなるので注意。

(3) 自家用車を利用する場合

- ・道路通行は日本と逆で、右側通行である。
- ・悪路が多いため、パンクの修理セットは常に携行する。
- ・交通規則は人間優先に改正されたものの、まだ車両優先の傾向が強く、交通規則の違反が多い。
- ・路面に凹凸や穴がある。冬は路面が凍結して滑りやすくなる。
- ・運転ルールを守らない運転手が多いので細心の注意が必要。



(4) レンタカーなどを利用する場合

モンゴルでは最近、運転手付きを条件にレンタカーサービスを始めた会社も出てきている。

(5) 地図

英語版の地図もあるが、地方では舗装道路がほとんどなく、道路に標識がないので、地図は意味をなさない。実際には現地の運転手がいないと迷う可能性が高い。最近ではGPSも使われるようになった。

7-2 交通事故、盗難

(1) 対処方法

地方での事故の場合は、最寄りの警察に通報するか102に電話する。移動携帯電話のネットワークが無い地方のソム等に事故があったら通りがかりの車に頼んで警察に通報をお願いする。警察が来るまで事故現場を動かしてはならない。事故現場の検分と事情聴取後、警察官の指示に従う。事故状況によっては、車輛をいったん警察に押収される場合もある。

警察:102

(2) 救急病院

電話番号は「103」である。救急車で適当な救急病院へ運ばれることになる。

(3) 車両の盗難、車上荒らし

ウランバートル市内で車輛盗難と車上荒らしは多くはないが、夜間、パッキング中の車のタイヤ、ミラー等の盗難件数が増加傾向にある。盗難防止のため、車はガレージに入れること(ガレージは寒さ対策の面からも必要である)。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

右側通行には特に留意すること。駐車違反、スピードの出しすぎ、シートベルトの未着用、中央道路では第1車線走行、飲酒運転などは取り締まりの対象となる。また、交通警察から止まるように指示された場合は、速やかに停止し、免許証を準備して指示を出した警察官を待つこと。

(2) 罰金、罰則

警察官にはモンゴル語しか通じない場合が多いが、冷静に対応し、違反したことが明白であれば違反の種類によって「罰金」10,000Tg～384,000Tgを支払う。また、各所に監視カメラが設置されており、違反した場合罰金請求の通知書届くので、日頃から違反をしないように気をつけるべきである。

7-4 車の修理

(1) 部品

日本車を扱う修理・整備工場があり、部品交換については日本、シンガポールから新品及び中古車の部品を輸入することになる。

(2) 修理工場

修理自体はウランバートル市で可能である。車種により修理工場が異なる。(詳細はPart 3イエローページを参照)



- ・ Auto Plaza店
- ・ Monnis Interntional
- ・ Mongolian Star Melshers Co.,Ltd
- ・ Doctor Auto Center
- ・ Zig Zag Auto Center
- ・ Forward Motors Co.,Ltd
- ・ Bodiz Automotive LLC

8. 通信



8-1 電話

(1) 一般事情

1996年までモンゴル国では固定電話のMongol Telecom社が唯一存在していたがモンゴル国政府が行った移動通信事業の入札により日本資本が入ったMobicom社が携帯電話事業を始めた。1996年3月以降、モンゴル国の通信界に固定式・移動式という言葉が入るようになった。

公衆電話については携帯電話が普及以来、ほとんど見あらず、中央郵便局内しか使われている場所がない。ホテル滞在の方はホテルの電話を利用することになる。

(2) 国内電話

一般固定電話から市内の固定電話への通話料金は、1分につき20～25Tg、携帯電話への通話料金は60Tgである。携帯電話の通話料金は会社によって異なるが、約30～100Tgである。

(3) 国際電話

固定電話から日本の携帯電話への国際通話料金は1分につき450Tg、固定電話への国際通話料金は1分につき340Tg加算される。

上記価格は 10%VAT 込み価格である。

(4) 電話会社

固定電話会社 1 社、携帯電話会社 4 社が活動を行っている。

<固定電話会社>

- ・ Mongol Telecom Co.,Ltd

<携帯電話会社>

- ・ Mobicom Co.,Ltd
- ・ Skytel Co.,Ltd
- ・ Unitel Co.,Ltd
- ・ G Mobile 社

携帯電話の使い方は基本的に、毎月利用した分を払う後払い方式とカードを購入して利用するプリペイド方式がある。後払い方式の場合、上記の携帯電話会社にて新規の契約をする必要がある。支払は現金及び振込で可能。プリペイド方式は契約締結不要。カードは上記携帯電話会社のロゴが付いているキオスクなどで入手可能。

8-2 電信

(1) 一般事情

ホテルのビジネスセンター、郵便局から送信可能。

・FAX 料金 (2014 年 10 月現在)

海外 約 2,000-2500Tg/分

(2) インターネット

接続コネクターの形状は一般的に、日本と同じモジュージャックである。なお、大手ホテルでは部屋にインターネット接続環境が整っている。モンゴル日本センターの図書館ではインターネットを利用することが出来る。利用可能時間は 1 時間である。

また、一部のレストランやカフェでは Wi-Fi が整備されており、インターネット環境はかなり改善されてきている。

最近インターネット専用のプリペイドカードの販売が始まり、短期滞在者についてはこれを利用する方法もある。また、インターネット接続プロバイダーが数社あり、申し込み同日にアカウントの取得ができるところがほとんどなので、当地での滞在期間に応じて、現地アカウントを利用することも可能。料金はプロバイダー、利用形態によって異なる。

家庭でインターネットを利用するには LAN ケーブルか無線を勧める。インターネットプロバイダー会社と契約を締結し、定期的に支払を行う。料金は速度やその他の条件により異なるが、例えば時間制限なしで 2mb~4mb の速度であれば 20,000~30,000Tg/月程度である。

<代表的なプロバイダー>

- ・ Mobicom 社 <http://www.mobinet.mn>
- ・ Univision 社 <http://www.univision.mn/>
- ・ Skynet 社 <http://www.skynet.net/>

8-3 郵便

(1) 一般事情

国内郵便は、はがき 440 トゥグリグ、手紙 1980 トゥグリグであるが、所要日数はまちまちである。国際航空郵便は、日本まではがき 1100 トゥグリグ、手紙 1,400-1430 トゥグリグ、封筒は 300~500 トゥグリグである。(すべて VAT 抜額) 日本までの所要日数は 1 週間程度。

街中には日本のような郵便ポストはなく、ホテルの受付に依頼するか、あるいは郵便局の投函口へ直接投函しなければならない。1 年間の私書箱設置料は個人 21430Tg, 会社 47850Tg。

郵便物の発送については、小包は航空便、船便で送付可能である。また中央郵便局では、EMS(国際エクスプレスメール)も取り扱っており、日本から中3~5日程度で届く。

(2) 課税

DHLの段ボールで送る小包の引き取りは中身の確認がある。小包の内容欄、金額欄に入力した内容により空港の税関での検査に時間がかかる場合もある。

(3) 国際宅配サービス

代表的な会社は次のとおりである。(詳細はPart 3イエローページを参照)



- ・ DHL 社
- ・ EMS

9. コンピューター



9-1 ハード、ソフト

(1) 調達の方法

英語仕様のパソコン、関連部品の現地調達は可能である。日本語仕様の製品は注文輸入も含めて困難である。電気製品店には広く出回っているPCはDell, Lenovo, Sony, Toshiba, HP, Mac, Acerであり、これらはシンガポール、台湾、中国などからの輸入品である。

(2) 使用の際の注意

日本で購入した製品の場合、電圧が220Vに対応するための変圧器(トランス)が必要である。

(3) 修理

現地で購入した物品については、保証期間がついており、サービス・センター

での現地修理が可能である。日本から持参したパソコンは、機種によっては対応できない場合もある。PC修理会社は IT Zone、Doctor Center 等がある。

10. 職場環境



10-1 職場環境、勤務条件

(1) 就業時間

月曜日から金曜日まで執務で、土曜日、日曜日は休日。官公庁及び UB 市役所は 8:30～17:30(昼休みは 12:00～13:00)。その他民間企業等は一般的に 9:00～18:00(昼休みは 13:00～14:00)。

(2) 有給休暇

社会保険料納付期間が満5年未満は15日間、6年目以上は18日間、15年目以上は21日間。

(3) 執務室

各省庁および関係機関のビル内の一室で 10～18 平方メートル程度である。局長以上は個室を利用している場合が多い。

(4) 通勤事情

タクシーやバスを利用しての通勤が一般的。

11. 出入国手続き



11-1 入国

(1) 空港施設概要

チンギスハーン国際空港は1階が到着ロビー、2階が発発ロビーである。入国審査等を受けた後の出口は1カ所なので、そこが出迎えポイントとなる。

(2) 入国手続き書類

① 滞在期間が 30 日以下の場合:

特になし

② 滞在期間が 31 日以上 90 日以下の場合:

入国後 7 営業日以内に「登録手続」が必要(持っている査証の種類や期間を確認し、滞在期間よりも短い査証しか無い場合には、査証申請も合わせて必要)

③ 滞在期間が 91 日以上の場合:

入国後 7 営業日以内に「登録手続」、入国後 21 営業日以内に「滞在許可申請」が必要。(持っている査証の種類や期間を確認し、滞在期間よりも短い査証しか無い場合には、査証申請も合わせて必要)登録や滞在許可申請は、チンギスハーン国際空港の近くにある外国人登録センターが所管しており、同センターで手続きを行う必要がある。手続きにはパスポート、子供の場合身分証明書、申請書、写真、ホロ登録書及び受入機関のレター、手数料やカード発行代金が必要となる(所要手続き日数は 5～7 営業日)。

必要書類や手数料等は変更される場合があることから、適宜確認することを勧める。

(3) 入国審査

機内で渡される入国カードに必要事項を記入し、空港到着後、徒歩で空港建物内の入国審査カウンターへ移動する。パスポート、入国カードを係員に提示する。係員から訪問目的などの質問等を受ける場合もある。

(4) 税関検査

事前に機内で記入された税関検査カードを係員に提示する。税関申告書などのカードは無く、出口付近に立っている検査官の判断に応じて、荷物の確認などが行われる。なお、段ボールに入った荷物は開けられる可能性が高い。

(5) 空港内での留意点

荷物引き取りに時間を要することが多い(おおむね1時間程度)。飛行機到着時のロビー(出入口付近)は大変混雑するため、盗難などに十分注意する。空港内に医務室、警察、食堂、両替所、インフォメーションセンター等がある。

(6) 空港からの主な交通手段

バスとタクシーがある。バス停が少し離れているので、荷物が多いときには不便である。タクシーは常時いるとは限らず、モンゴル語ができないと利用は難しいため、知人等を通じて予め手配することが望ましい。

11-2 出国

(1) 出国時の概要

チェックインカウンターでチェックインし、荷物を預ける(ゲート立ち入りは搭乗者本人しか認められず、チェックイン後はゲート外に出られないので注意)。出国カードに必要事項を記入後、出国審査を済ませ、出発ロビーに進む。

なお、モンゴル国の伝統的なアンティーク、木材、動植物等を持ち出す場合、事前に関係省庁からの許可書が必要。

(2) リコンファーム

最近は不要になっている。出発時間変更などについては航空代理店より連絡が入る。

(3) チェックイン

2時間前。荷物を預ける際の重量制限は通常エコノミークラス22kg、ビジネスクラス30kgまで。超過した場合の料金は航空会社によって異なるので事前に確認すること。

(4) 空港利用税

空港利用料は航空券代金に含まれている。

11-3 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

滞在許可を取得している滞在者が帰国(一時帰国を除く)する場合には、帰国の7営業日前に外国人登録センターにて滞在許可の抹消手続きを行うことが必要であり、これを行わない場合は、空港の出国審査場にて罰金を徴収されるか、出国を拒否される場合がある。(なお、滞在期間が30日間以内の場合は、外国人登録センターでの登録が不要であるため、これには該当しない)

(2) 車の処分

交通警察で名義人変更の手続きをする。

(3) 家財道具の処分

現地で処分する場合、後任者や知人に渡すケースが多い。日本への輸送は陸送、空港の2つの方法がある。運送手続きは、民間企業か郵便での発送となる。

主な民間輸送会社は Tuushin、UB Trans、IFFC、Landbridge、Erin International、Instant Trans 社等である。

(4) 住宅の明け渡し

家主と交渉して明け渡し時期などを決定する。国際電話等の契約は早めに解約し契約時に支払っているデポジットを受け取っておくほうがよい。

(5) 外貨持ち出し規制

マネーロンダリング法により、1500 万 Tg または相当の現金を持ち出す場合には、所定の様式に必要事項を記載し申告する必要がある(入国時も同様)。

銀製品や狼の毛皮、化石、石、砂、また文化的または歴史的価値の高いものは、特別な証明書がないと出国時に空港で没収される。

12. 治安、 緊急時の心得



※生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

12-1 暴動、クーデターなど

日本の外務省海外安全ホームページによりモンゴル国の危険情報及び概況を知ることが出来る。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html?>

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

<http://www.mn.emb-japan.go.jp/>

12-2 強盗、盗難

(1) 一般的治安状況

置き引き、空き巣、窃盗、バスの中や市場でのスリなどがほとんどであったが、最近では強盗、暴行、殺人などの凶悪犯罪も増加の傾向にあり、注意が必要である。また、日本人の被害例としては次のようなものがあるので特に注意すること。

- ・バスの車内や市場で、ポケット、かばんを切られてお金を取られた。
- ・一時帰国中に自宅のドアを破られ、現金及び PC 等、電気機器を盗まれた。
- ・深夜、酔っ払いがからんできて突然殴りかかってきた。
- ・市場で写真を撮ろうとしたら殴られた。

(2) 住宅の防犯対策

- ・住居は 1 階を避け、扉は鉄製にするか、または複数の施錠とドアチェーンを付ける。
- ・貴重品は、鍵のかかるスーツケースなどに保管する。
- ・訪問者には前もって来訪時間を連絡してもらう。
- ・ノックに対してすぐにドアを開けず、用件、名前などを尋ねてから開けるようにする。
- ・長期間留守にするときは、信頼できる日本人に鍵を渡し、定期的に訪れてもらうよう依頼する。

(3) 市中での防犯対策

- ・外出時は派手な服装を避け、不必要な貴重品や現金は持ち歩かない。
- ・バッグは簡単に切ることのできない丈夫なものとし、たとえ切られても、中のものが取り出せないよう、中身をまとめて袋に入れておく。バスや市場などでは両手で抱えるよう心がける。
- ・酔っ払いを見かけたら、からまれないよう相手を凝視しないようにする。からまれた場合は、相手が逆上しないよう激しい抵抗はせず、さりげなく人通りのあるほうへ移動し、注意をそらすよう努める。
- ・夜間の一人歩きはしない(JICA 事務所では、夜 10 時以降の不要不急の外出は避けるよう指導している)。

(4) 注意すべき場所、危険地域

人が多く混雑しているザハ等ではスリに注意する。

(5) 被害時の心得

被害に遭ったら、警察(電話:102)、大使館に通報する。通報の際には、落ちて「自分の名前と身分」「現在地」「事故、事件の内容(誰が、いつ、どこで、何を、どうした)」「けがの有無、けがの程度、意識の有無」「通報者の連絡先と連絡方法」などをはっきりと述べる。

12-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況

ガスや石油ストーブなどを使用しないので、火災は起こりにくいですが、タバコの始末や停電中に利用しようそくからの出火が年に数件起っている。家庭内で使用しているコンセントや延長コードの品質が悪く、火災の原因となることもある。6~8 月には雨が多く、水害が出ることもあるが、被害はゲル集落に集中しており、アパート群ではさほど心配はいらない。

地震は、西部地方では発生しているが、UB 市をはじめその他の地方においても地震が起こる可能性がないとは言えないとされている。

近年首都ウランバートルへの人口集中に伴い、暖房用の石炭の使用が増加し冬季の首都ウランバートルでの大気汚染が深刻な問題となっている。モンゴル政府と国際機関等による調査及び対策等実施されているが、まだ改善されたいとはいえない。そのため、特に冬季の滞在期間中に関しては、マスク装着等予防が必須である。

(2) 防災対策

タバコの火の始末に気をつける。保険会社はある。

(3) 被災時の心得

火災が起きた場合は消防署(電話:101 及び 105)に通報する。また、避難時にエレベーターを使用してはいけない。

12-4 緊急連絡先電話番号

警察:102

救急車:103

消防:101、105

交通事故:102,124

13. 社交



13-1 風俗習慣

- ・ものを渡すとき(受け取るときにも)などは必ず「右手」を使う。
- ・馬に乗る際には、馬の「左側」から乗る。
- ・峠などにある石積み(オボー)では、旅行の無事を祈って時計回りに3回まわる。
- ・他人と足がぶつかった時は握手をする習慣がある。
- ・人の帽子を被っても、借りてもいけない。
- ・モンゴル人の頭に過失/故意で触ってはいけない。
- ・人を人差し指で指してはいけない。
- ・ものを受け取るときに指に挟んではいけない。

13-2 パーティーでの留意点

お酒を受け取る際は、必ず左手を右肘に添えて右手で受ける。
アルヒ(酒)など強いお酒があるので飲み過ぎないように注意すること。
相手のことをよく知らない場合、モンゴル国内政治、選挙、法律、人の服装・化粧、様々な議論に関する話題は避けたほうが良い。

13-3 来客時の留意点

一般的にお客様をもてなすように接すれば特に問題はない。但し、泥酔状態の訪問者はトラブルの元になるので家には入れないこと。

13-4 訪問時の留意点

突然の訪問でもモンゴル人は親切に受け入れてくれるが、事前に訪問約束をしたほうが良い。大きな手土産は必要ないが、日本のお菓子、日本製のお土産を持っていくと喜ばれる。

ゲルを訪問したときには以下のことに注意する。

- ・ゲルではモンゴル独特の乳製品スーテイツアイ、アールツ、アーロール、ビヤスラグ等が出てくることが多い。その後、アイラグ(馬乳酒)やシミーンアルヒ(ウオッカ)などでもてなされるが、胃腸の弱い人、お酒に弱い人は無理をしないこと。
- ・嗅ぎたばこを差し出されたときは「右手」で受け取り、嗅いだあとも右手で相手に戻す。
- ・お酒は必ずゲルの主人が客の杯に注ぐ。訪問者が手酌で飲んだり、人へお酌をしたりしてはいけない。

13-5 禁止されている言動 (タブー)

人を直接指差す、人にバカと言って頭に触る、頭に手を置く(小さい子供には問題ない)、人を見ながら第三者にささやく、民族の飲食と料理について気詰まりになる言葉は失礼にあたる。プライドを傷つけるような言葉は慎むこと。

13-6 日本人会

モンゴルの日本人会は会員相互の親睦と福祉の増進並びに日本・モンゴルの友好親善を図ることを目的とし活動をしている。約180名が会員となり、年数回の総会に加えてハイキング等様々なイベントを催し、活動を行っている。

13-7 JICA帰国研修員同窓会

モンゴルのJICA全研修員数は約3580人(2015年10月現在)。研修員同窓会は2000年5月19日に設立された。同窓会員数は784人(2015年10月現在)。主な活動は帰国研修員同士の交流促進、JICA事業紹介、技術協力関係行事に参加、モンゴル関係情報提供などである。

13-8 現地の人々との交流

休みの日に釣りやハンティング、山のぼり、バーベキューに誘われることがよくある。女性がハンティングに行くことは、モンゴルの習慣上、禁止されている。

14. 教育



14-1 教育事情

(1) 一般事情

モンゴル国の教育制度は5・4・3制がある。このうち9年間が義務教育である。9月に新学期が始まり6月まで授業がある。基本的にモンゴル語で授業が行われているが、外国語(ロシア語、英語)で授業が行われる幾つかの学校もある。※子弟の教育については海外子女教育振興財団に問い合わせるとよい。

<海外子女教育振興財団>

URL: <http://www.joes.or.jp/>

E-mail: system@joes.or.jp

・東京

住所: 〒105-0002 東京都港区愛宕 1-3-4 愛宕東洋ビル 6階

電話: 03-4330-1341

FAX: 03-4330-1355

受付時間: 9:30~17:00(月曜日~金曜日、祝日・年末年始を除く)

・関西分室

住所: 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 3-4-5 毎日新聞ビル 3階

電話: 06-6344-4318

FAX: 06-6344-4328

受付時間: 9:30~17:00(月曜日~金曜日、祝日・年末年始を除く)

(2) 現地校、外国人学校



・インターナショナルスクールがアメリカ人によって1992年に設立された、モンゴルで唯一の国際バカロレア(IB)認定校である。幼稚園児から高校生までが通っている。教材はアメリカ通信教育用のものを使用している。2016年10月現在、7名の日本人の子供が通っている。

・アメリカンスクール(ASU): 2006年に開校。幼稚園児~高校生まで通っている。授業料はインターナショナルスクールより安価。2016年10月現在、3名の日本人が通っている。

一般の現地校への編入は可能であるが、モンゴル語での授業となるため、通学は困難。(インターナショナルスクール、アメリカンスクールの詳細はPart 3 イエローページを参照)

(3) 幼稚園

インターナショナルスクールとアメリカンスクールに幼稚園がある。

ウランバートル市の地域ごとに公立と私立の幼稚園がある。1.5~5歳が対象年齢、使用言語はモンゴル語。公立の幼稚園は無料だが、一般的な私立は平均350,000~500,000Tg/月である

14-2 教育関係施設

(1) 図書館など

国立中央図書館、ウランバートル市立図書館があり、ともに閉架式である。閲覧には利用者証明書が必要である。証明書は、配属機関からの公文書があれば日本人子弟にも発行してくれる。(詳細は Part3 イエローページを参照)



- ・ 国立中央図書館
- ・ ウランバートル市立図書館

15. 家庭の使用人



15-1 一般事情

経済の発展とともに賃金格差が拡大しつつである。共働きの家庭または収入水準の高い家庭ではメイドやベビーシッターを雇用する状況が増えている。外国人家庭では家事を担う家政婦及び私用者の運転手を使用人として雇うことが多い。但し、外国語を話せる家事使用人を見つけることは困難である。

15-2 運転手

(1) 雇用

身元保証の意味から、また確実な連絡先を把握しておくためにも知人などから紹介を受けることを勧める。英語または日本語が話せることが望ましいが、そのような人材は少ない。

契約書には、賃金および支払い方法、勤務時間、休日・休暇、超過勤務、雇用期間を明記する必要がある。

(2) 日常管理

走行管理、車両に関する燃料管理、洗車、保守点検、整備など運転手が行う。

(3) 教育指導

現地の運転手は、スピードを出し過ぎる傾向がある。また、エンジブレーキを使わないことが多い。事故を避けるためにも、スピードを出し過ぎないように、安全運転の指導することが大切である。

(4) その他の留意点

市内と地方では路面状況などがまったく異なる。特に夏は道が悪く、かなりの運転技術と、パンクや故障に対する処置能力が要求される。そのため、地方での運転を嫌がるドライバーもあり、自分の行動範囲を考慮してドライバーを選ぶ必要がある。

15-3 家政婦／夫

(1) 仕事の種類と人数

料理、給仕、掃除、洗濯などを行う。幼児のいる家庭では子守と子供の面倒を見てくれる家政婦及びベビーシッターを雇っている場合もある。アパートに居住す

ることが多いので、人数は1人で十分である。

(2) 雇用

運転手同様、知人の紹介を受け面接をして採用を決定することが望ましい。賃金は交渉次第である。

(3) 日常管理

意志の疎通ができれば問題はない。しかし、日本語や英語を理解する人材は少ないことから、雇用者側も多少のモンゴル語を理解しておく必要がある。

15-4 庭師、ガードマン

だいたいアパート住まいのため、庭師は必要ない。建物の入口が施錠されている住居、または管理人のいる住居であれば、ガードマンも必要ないと思われる。

ガードマンは、警備会社に委託することが多い。主な警備会社はIld Bambai Security、Tergel Tekh、Ikh Khar Suld、Khangai Khanii Khangarid、Khuh Arslan社等である。

16. メディア



16-1 新聞、雑誌

(1) 現地発行の日刊紙

日刊紙は「Zuunii Medee」、「Udriin Sonin」、「Unuudur」の主な3紙がある。いずれもモンゴル語で記載されている。料金は約70,000Tgで、四半期ごとに郵便局に支払う。英語紙である「Mongol Messenger」、「UB POST」や日本語の「モンゴル通信」紙などもある。また、ロシア語、中国語の週刊紙もある。

日刊紙の配布については中央郵便局に私書箱があれば入れてくれる。私書箱が無い場合は一番近い郵便支局の住所を様式に書いて係員に渡しておく。

(2) 日本の日刊紙

OCSのサービスが利用できる。到着は5~10日遅れである購読料、申込先、電話、宅配の可否などについては各人で確認すること。(OCSの詳細はPart 3 イエローページを参照)

 Yellow Page

(3) 欧米紙／誌

海外の雑誌の定期購読はできる。

(4) 日本の雑誌、書籍

日本の出版物がモンゴル・日本センターで閲覧できる。

所在地: Sukhbaatar district, 国立大学第2校舎の左側

電話: 325123

16-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

MRTV (Mongol Radio and Television) が放送を実施している。

(2)NHKワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

<NHK ワールド・ラジオ日本問い合わせ先>

NHK 国際放送局国際編成部

所在地: 〒150-8001 東京都渋谷区神南 2-2-1

<http://www3.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radio/program/index.html>

16-3 テレビ

(1)地上波放送局

MRTV(Mongol Radio and Television)を含めモンゴルの約30~40チャンネルを放送している。

(2)衛星放送、ケーブルテレビなど

アパート、ホテルによっては衛星放送を受信できる。NHK ワールド、BBC、CNN、DW、ESPN、Star Sport、Discovery、National Geographic Channel、Fashion TV、Cartoon Network、MTV の他、中国、韓国、ロシア、インド、ドイツ、フランス、スペイン、イタリア等の番組も見ることができる。

ケーブルテレビ局が 7 カ所開局し、市内のほとんどのところでケーブルテレビが引けるようになった。アパートの建物にケーブルが引いてあれば、契約後 4~5 日で工事をしてくれる。最初の契約料金は会社によって異なるが、視聴料は月額約 10000Tg~30000Tg。チャンネルは局ごとに少々の変更はある。

<NHK ワールド TV 問い合わせ先>

NHK 国際放送局国際編成部

所在地: 〒150-8001 東京都渋谷区神南 2-2-1

<http://www3.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/top/index.html>

(3)テレビ受信

テレビの受信方式は ME-SECAM 方式である。テレビはマルチシステムのもので廉価で販売されており、日本からの持ち込みは不要である。現地で販売されているテレビ、ビデオはマルチ方式が多く、日本から持参したビデオを見る場合が多い。

16-4 その他

チンギスハーン空港場にインフォメーションセンターがあるので、当センターでモンゴル関係情報を収集可能。

17. スポーツ、趣味、 語学学習



Yellow Page

17-1 スポーツ

＜スポーツ施設＞

(1) ゴルフ

- ・ UB Hotel Golf

(2) テニス、フィットネス

- ・ Orchlou フィットネス クラブ
- ・ SS-club フィットネス クラブ
- ・ Bella Vista-Zaisan フィットネス クラブ
- ・ Blue Sky Vista-zaisan フィットネスクラブ

(3) その他のスポーツ

一般的なスポーツ(卓球、サッカー、ボーリング、バレーボール、バスケット、レスリング、ボクシング、テニス)の実施が可能。また、季節によっては乗馬、釣り、スキーが楽しめる。なお、日本人会で定期的な催しものを行う場合もある(日本人会に直接問い合わせをすること)。

17-2 趣味

Tengis、Urgoo映画館で欧米の人気映画が見られ、若者でにぎわっている。週末に子連れの家族も見られる。

バレエや音楽演奏、喜劇などの芸術活動はウランバートル市内の劇場で楽しむことができる。また、時々外国からの有名な音楽家や芸術団体が招待されてくる。そのほか、モンゴル民族舞踊、伝統音楽、西洋楽器、社交ダンス、釣り、手芸なども楽しめる。

17-3 語学学習

(1) 語学学習施設

市内には現地人向けの英語、フランス語、ドイツ語、中国語、日本語等の3ヶ月、6ヶ月、1年間のコースがある。また日本人向けのモンゴル語教室も開かれている。

(2) 家庭教師

知人の紹介及び公募による。語学レベルにより料金は異なる。

18. 観光



18-1 地方旅行の留意点

外国人によるモンゴル国の地方間の移動は規制が無く自由であり、治安状況も比較的安定している。移動に際しては、地方の道路が場合によって舗装道路ではないことから、車両を運転手付で借りたほうが良い。

通常レンタカー代には運転手の日当やガソリン代が含まれており、1日150,000～500,000トゥグルグ程度である。また、定期的なバス、汽車、国内便もある。なお、治安情報については、日本の外務省海外安全情報(危険情報)

サイト及び在モンゴル日本大使館でも確認できる。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/>

<http://www.mn.emb-japan.go.jp/>

18-2 主要観光地・保養地

日本の一般旅行ガイドブック(地球の歩き方)などに多数紹介されているので、利用すると便利。

18-3 旅行代理店

モンゴルには旅行代理店が多数あり、宿泊、ガイド、車輛手配等すべてを代行してくれる。そのなかで代表的な旅行会社は次のとおりである。

 Yellow Page

- ・ Juulchin社
- ・ New Juulchin社
- ・ Kaze Travel社

19. 私財の輸送、 引き取り、購入



19-1 家財道具

(1) 輸送会社

個人荷物: 輸送依頼業者に直接連絡を取り、輸送品名と空送か陸送かを伝えれば、担当者が荷物を受取に来る。輸送会社は Tuushin, Mongol Trans 等である。

(2) 輸入手続き

INVOICE, PACKING LIST, AIRWAYBILL等が必要である。事務所に届けてくれるときもあるが、会社によって事務所から上記書類と一緒にレターを発出する必要がある。

(3) 輸入貨物の受け取り港

中国との国境、ザミンウーデなどになる。ウランバートルまでは輸送会社が運んでくれる。

19-2 自動車

(1) 一般状況

現地で購入できる車はロシア、韓国、日本、ドイツ、アメリカの新車・中古車などである。日本からの自動車類には輸入制限はないが排気量規制はある。当地の運転・交通マナーは良いとは言えず、特に日中に自ら運転することは容易ではないこともあり、日本から自家用車を輸入するメリットは少なく、当地において車両を購入又はレンタルすることを勧める。

(2) 輸入手続き

個人での輸入手続きには時間を要するため、代理店を通すほうが無難であるが、現地運輸業者は日本からの連絡などが難しく、日本国内の運送業者についても、モンゴル向け個人輸送は高額でサービスも行き届いていないと難しい。現在では、自身が赴任後、現地代理店と家族(知人)などの協力を得て輸入手続きを行うことが一般的となっている。

<輸入手続きのフローチャート>

日本で前金を支払う(寒冷地仕様)→代理店→納車(ここまでに 2 カ月)→船積み→中国天津港で荷下ろし→貨物列車に積み換え(ここまでに 1 カ月)→中国・モンゴル国境で再度積み換え→ウランバートルの業者→電話で到着の報告(ここまでに 1 カ月)→税関手続き→引き取り→輸入書類を持って交通警察で自動車登録。

以上のように、手元に届くまでに平均 3~4 カ月を要する。特に、6~9 月の物資輸送は時間がかかる。

(3) 現地での購入

購入可能な車両として、ロシア製乗用車、ジープ、日本の乗用車、4WDのほか、ベンツ・BMW・韓国の現代・大宇の新車がある。

(4) 自動車登録

所属機関の書類と、税関が発行した税関手続き終了の登録用の書類が必要である。また、交通警察で登録し、車検証明書を窓ガラスに張らなければならない。ナンバープレートは、各国大使館、UNDP 等国际機関は「赤地に白ナンバー」、その他は「白地に黒ナンバー」である。

(5) 免許証取得

国際免許証の対象国では無いことから、国際免許証による運転は出来ない。日本の免許証からモンゴルの免許証へ書き換えることが可能(有料)なことから、当地で運転を希望する場合は日本の免許証を持参すること。

(6) 保険、税金

現地の代表的な保険会社はMongol Insurance company, Bodi Insurance company, Nomin Insurance company, Ard Insuranse company, Khaan insurance company等である。

車検は年 1 回(10~15,000Tg)、4 月に交通警察で実施される。

20. 地方都市



モンゴルでは 3 市 21 県がある。地方都市としては Darkhan, Erdenet が比較的大きい。

<ダルハン市概況>

モンゴル第 2 の工業都市である。首都ウランバートルより北に約 250km 離れている。ダルハン市は新ダルハン旧ダルハンと分かれている。新ダルハンに住

宅街になっていて、高層アパートが立ち並んでいる。冬はウランバートルより寒い。人口は約 10 万人。食肉工場、皮革工場、セメント工場、発電所などがある。
生活物資：ダルハン市はウランバートルに比べて空気がきれいで、大きなスーパーもあり、ザハ(市場)など、色々な店があることから、日常生活に必要な物は大抵手に入る。

交通状況：市内の移動にはタクシーを使う。

列車はウランバートルまで席の種類によって 1 人あたり 5950Tg～19850Tg、6～7 時間で到着する。バスは 1 人あたり約 10,000Tg、タクシーは 1 人あたり 20,000Tg で、3～5 時間程度で到着する。列車は時間が正確で振動が少ないので、特別の理由がなければ列車を利用したほうがよい。しかし、ダルハン駅は浮浪者が多いので、夜行に 1 人で乗るのは避けたほうがよい。

電気：停電はほとんどない。

水道：断水はほとんどないが、たびたびお湯が出なくなる。

通信：ウランバートル市と同様ケーブルテレビ業者によるインターネット利用が可能となった。ダルハンの郵便局からは電話、FAX を利用することができる。携帯電話会社「Mobicom」、「Skytel」、「Unitel」「G-Mobile」の支店があり、携帯電話の使用は可能である。

郵便：ウランバートル～ダルハンで、2 日～1 週間かかる。

<エルデネット市概況>

エルデネット ウールという銅鉱山が発見され、1974 年に街が造られた。エルデネット市はバヤンウンドウル村とエルデネット村(駅側)が合わさって 1 つの市になっている。町のメインはバヤンウンドウル村で、県庁や主要機関は全てここにある。東西 2km ほどのメイン通りを中心に機関や商店、1～6 地区に分かれた住宅があり、小さく整頓されたきれいな町で、すぐそばに丘があり空気もきれいである。大きなスーパーやザハなどそれなりに色々な店がある。人口は約 9 万人。

鉱山により経済的に潤っていることから、今のところ犯罪(スリや空き巣)も少なく比較的安全な町と思われる。

ウランバートルから360km離れ、鉄道(夜20:20発、翌日の08:00着)、舗装道路(車で5時間)で結ばれる。

生活物資：輸入製品等を含め種類豊富な生鮮食品が沢山置いてあるお店がある。年中出回っている基本野菜(ジャガイモ、にんじん、たまねぎ、キャベツ、ニンジン、にんにく)の他に、輸入野菜では、きゅうり、トマト、パプリカ、バナナも入手可能。また、不定期で、なす、白菜、大根、もやしなども出回り、春から秋にかけては、ネギやにら、菜っ葉なども購入出来る。

レストランは少なく、モンゴル料理のレストラン以外は、韓国料理、中国料理、ロシア料理。

交通状況：メイン通り以外の道路は 2～3 つしかない。最近、車が多くなった。市

内の移動には基本は徒歩。タクシーは市内どこまで乗っても一律 1000Tg - 3000Tg である。駅からメイン街までは遠く、マイクロかタクシーで 15 分くらい。料金はマイクロ 1500Tg/人、タクシー2000-3000Tg/人、タクシーによっては、大きい荷物(スーツケースなどの場合)代を取る場合あり。

外へのアクセス:各地への移動が可能。汽車、バス、マイクロバス、ジープ、タクシーがある。ウランバートルまで毎日 19:40 発 07:40 着の汽車がある。料金は 1 等 25800Tg/人、2 等 8400Tg/人バスは韓国の中古観光バスで、15,000Tg/人、所要時間 7 時間半(休憩 30 分込)。ウランバートルまでの道は完全舗装。タクシーは、25,000tg。マイクロやタクシーは事故が多いため基本は汽車かバスで行くことになっている。ダルハンまではマイクロバスかタクシーで 2 時間半。ボルガンまではジープ、タクシーのみ出ている。5,000tg/人で1時間強かかる。他各地域までいける。

電気:停電はほとんどない。

水道:断水が起きやすい。お湯は出たり出なかったりで、5、6 月は暖房システム修理時期になる。冬は、夜になるとぬるくなることが多い。

通信:ウランバートル市と同様ケーブルテレビ業者によるインターネット利用が可能となった郵便局からは電話、FAX を利用することができる。

携帯電話会社「Mobicom」、「Skytel」、「Unitel」、「G Mobile」の支店があり、携帯電話の使用は可能である。

郵便:手紙は 7~10 日かかる。町のはずれにある郵便局支店で、手紙や荷物を受け取ったり送ったりできる。

Part 3 イエローページ

※特に記載がない限り、JICA 事務所のあるウランバートルの情報を中心に掲載しています。

1. JICA 事務所

所在地	7F,Bodi Tower, Sukhbaatar Square 3, Ulaanbaatar, Mongolia
郵便物宛先	JICA Mongolia Office P.O.BOX 682,Ulaanbaatar 211213, MONGOLIA
TEL/FAX	TEL:976-11-325939 FAX:976-11-310845
URL/E-mail	http://www.jica.go.jp/mongolia/index.htmlE-mail:mg_oso_rep@jica.go.jp

2. 日本大使館

所在地	Olympic Street, Sukhbaatar District, Ulaanbaatar, Mongolia
TEL/FAX	TEL:976-11-320777 FAX:976-11-313332

3. 緊急連絡先電話番号

日本大使館	TEL:320777
警察	TEL:102
消防	TEL:101,105
救急車	TEL:103

4. ホテル

* 提示料金はすべて2015年10月現在のものである。

■Ulaanbaatar Hotel (ウランバートル・ホテル)

チンギス広場の左側
TEL:320620 FAX:324485
URL:http://www.ubhotel.mn E-mail:reservations@ubhotel.mn
その他:Business center, Sauna massage & fitness center, Duty free shop,、洋風料理,モンゴル料理のレストランがある。

■Bayangol Hotel (バヤンゴル・ホテル)

ドラマ劇所の南側
TEL:312255 FAX:326880
URL:http://www.bayangolhotel.mn E-mail:info@bayangolhotel.mn
その他:・Business center, Health & fitness center, Sapporo shop, Cashmere shop等がある。 ・洋風料理のBayangolレストラン、モンゴル料理のOne Day of Mongoliaレストラン、美味しいカクテルで有名なCasablancaレストランがある。

■Best Western Premier Tuushin Hotel (トゥーシン・ホテル)

チンギス広場の左側
TEL:(976-11) 323162 FAX:(976) 325903
URL: www.bestwesternmongolia.mn E-Mail: info@bestwesternmongolia.mn
その他:Spa & massage, Laundry & dry cleaning, Business center, meeting facilities, conference hall, Cocktail lounge, lobby lounge

■Urgoo Hotel (ウルゴオ・ホテル)

政府庁舎の西側
TEL:70118044 FAX:70112344
URL://www.urgoohotel.com E-mail:info@urgoohotel.com

■RAMADA UB Hotel (ラムダ・ホテル)

西クロースロード、平和通。MAX MALLショッピングセンターの北側
TEL:70141111 FAX:70107777
URL: /www.ramada.com E-mail:ramada@ubcitycenter.mn
料金:一般向け料金(税金、朝食込み) Std.single: :121USD、Std.double:154USD

■PUMA Hotel (プーマ・ホテル)

政府庁舎の左側、人文大学の南側
TEL:(976-11) 313043, 319147 FAX:(976-11) 319148
URL: www.pumaimperialhotel.mn E-mail:puma_imperial@mbox.mn
料金:一般向け料金(税金、朝食込み) Std: 151,500MNT/191,900MNT (winter), 171,700MNT/231,000MNT (summer)

■Blue Sky Hotel (ブルースカイ・ホテル)

スフバートル広場の南側
TEL:70100505 FAX:70100404

	URL: //www.hotelbluesky.mn/ E-mail: info@hotelbluesky.mn
	料金: 一般向け料金(税金、朝食込み) Std. single: 186USD Std. double 209USD
■Continental Hotel (コンチネンタル・ホテル)	
	在モンゴル日本大使館の南側
	TEL: 323829 FAX: 329630
	URL: //www.ubcontinentalhotel.com E-mail: sales@ubcontinentalhotel.com
	料金: 一般向け料金(税金、朝食込み) Std.single: 240,000Tg, Std. twin: 300,000Tg
■Chinggis Khaan Hotel(チンギスハーン・ホテル)	
	セルベ川沿い
	TEL: 70000099 FAX: 312788
	URL: http://www.chinggis-hotel.com E-mail: marketing@chinggis-hotel.com
	料金: 一般向け料金(税金、朝食込み) Std.single: 262,364Tg Std double: 300,000MNT
■Corporate Hotel (コーポレート・ホテル)	
	ドラマ劇所の南側
	TEL: 334411 FAX: 334422
	URL: //www.corporatehotel.mn E-mail: mail@corporatehotel.mn
	料金: 一般向け料金(税金、朝食込み) Std.single: 255,000MNT
■Shangri-La Hotel (シャングリラ・ホテル)	
	結婚式宮殿の南側
	TEL: 77029999 FAX: 77023399
	URL: //www.shangri-la.com E-mail: enkhtaivan.baatar@shangri-la.com
	料金: 一般向け料金(税金、朝食込み) Deluxe (Single, Double) 325USD
■Kempinski Khan Palace Hotel (ケンピンスキーハーンパレス・ホテル)	
	東クローズロード、平和通り。
	TEL: 463463 FAX: 463464
	URL: http://www.khaanpalace.com E-mail: reservations.ulaanbaatar@kempinski.com
	その他: ・Spa and fitness center, Business center, conference hall, 等がある。 ・洋風料理のOasisレストラン、モンゴル料理のカラコルムレストラン、日本料理の桜レストランがある。

5.不動産会社

■Besta Real Estate	
	所在地: Bayangol district 2 nd khoroo Seoul street Khatanbaatar building 407
	TEL: 7730-0099, 98882211 URL: www.besta.mn
	不動産関連情報等(アパート)
■UB Zuuch	
	所在地: スフバートル区、第6ホロー、第4スーパーバス停の隣、TDBビルの2階203号室
	TEL: 70129898 URL: www.ubzuuch.mn
	車両・不動産関連情報等(アパート、ハウス等)
■Mongolia Properties	
	所在地: スフバートル区、第6ホロー、ソウル通り48/14
	TEL: 324545 URL: www.mongolia-properties.com
	車両・不動産関連情報等(アパート、ハウス等)
■Mongolian Real Estate	
	所在地:
	TEL: 99142710, 99117986 URL: www.mongolianrealestate.com
	車両・不動産関連情報等(アパート、ハウス等)

6.クリーニング店

■Metro Express	
	TEL: 70141004, 345777, 93221621
	営業時間: 09:00~20:00(お店による)
	市内各所にある。ドライクリーニングやセルフ洗濯サービスもある。色のついている服、黒服、カシミア服、子供服専用洗剤がある。
■HAPTA (NARTA) Dry Cleaning	
	TEL: 7000-5657, 93230153, 99962729
	営業時間: 09:00~19:00(お店による)
	市内各所にある。ドライクリーニングや洗濯サービスもある

7.美容院・理容店

■Charming Beauty

Grand Khan IRISH Pubの2階

TEL:339999

営業時間:AM11:00~PM20:00

■Greace Salon

Brauhouse レストランの右側

TEL:313221

営業時間:AM08:30~PM21:00

■Baical Beauty and SPA

Golomt town

TEL:336688

営業時間:AM10:00~20:00

■Kawa Japanese beauty salon & spa

Nominデパートの西南

TEL:312360

営業時間:AM10:00~PM21:00

■Koreana Hair & Beauty salon

Peace tower の反対側

TEL:314537

営業時間:AM10:00~PM20:00

■Matrix Salon

TEL:50061188, 90093388

営業時間:AM11:00~PM19:00、Sunday:10:00-20:00

■Seoul Hair salon

Nominデパートの前

TEL:329570, 70008151

営業時間:AM09:30~PM21:00

■ Kyoto clinic

Twin tower 1, 8th floor, 801

TEL:76100130

■ Japanese beauty clinic

KH Building, apart 6th Fl

TEL:99226744

■ TUYARAH salon(マツエクもやっている)

Marshall town 106

TEL: 70117700

8.レストラン・喫茶店

<モンゴル料理>

■ Gobi

UB市内複数店舗あり

TEL:95013162

営業時間:09:00~18:00

モンゴル料理メインのチェーン店。

■ Green Olive

政府庁舎西の公園南側に面する建物ブロックの1F

TEL:77191000

営業時間:07:00~24:00(月~金)、11:00~24:00(土・日)

ランチはbuffet形式でモンゴル風料理を楽しめる。

■MB beer plus

平和通り沿い、ドラマ劇場東隣り

TEL: 326741

営業時間:11:00~04:00

モンゴル料理を楽しめるほか、生ビールの種類が豊富。

■Modern Nomads Mongolian Restaurant

トゥーシンホテル東隣りほか、UB市内に複数箇所あり

TEL:70120808

営業時間:10:00~24:00(月~金)、11:00~23:00(土・日)

モンゴル料理を楽しめる代表格のお店。

<日本料理>

■味仙

平和通り、中心部からザイサンに行く途中「Geqeenten」1F
 TEL:75556600
 営業時間:11:00～21:30
 2016年5月オープン。豚骨スープのラーメンが定評あり。

■ HANA

市中心部もニスタワー2F
 TEL:70001324
 営業時間:12:00～22:00
 刺身含め和食が一通り楽しめる。個室多数あり。

■ NAGOMI

政府庁舎東側PUMA HOTEL向かい路地の建物2F。その他、市内に2店舗あり。
 TEL:70005045
 営業時間:11:30～22:00
 回転寿司としゃぶしゃぶのお店。

■TOTOYA Dining

ロシア大使館西側通り向かい
 TEL:95452111
 営業時間:11:30～22:00(月～土)、11:00～23:00(日)
 席数は少ないものの、焼き魚等の品揃え豊富。

■SAKURA

ケンピンスキーホテル2F
 TEL:463485
 営業時間:11:30～22:00
 とんかつや鍋焼きうどん等、和食の定食メニューあり。隣りに鉄板焼きの店舗もある。

■ SAKURA Bakery

ノミンデパートからサーカス宮殿に続く通り西側
 TEL:99813612
 営業時間:09:00～20:00(火～土)、10:00～15:30(日)
 モンゴル人も多く利用するお店。カレー、鍋焼きうどん等あるほか、ケーキも定評あり。

■ YAMATO

ソウル通りのツインタワー脇から南に少し入った建物1F
 TEL:99017394
 営業時間:12:00～24:00
 UB市内の代表的な日本料理屋の一つ。

<アジア料理>

■ Biwon Restaurant

スファートル広場東側セントラルタワー3F
 TEL:77400400
 営業時間:11:00～23:00
 韓国料理が一通り楽しめる。個室なし。

■ Central Garden

スファートル広場東側セントラルタワー3F
 TEL:77108989
 営業時間:11:00～24:00
 中華料理メインのレストラン。大人数利用時は予約した方がよい。個室なし。

■ Namaste

国立大学と中国大使館の間の通りを北に進み、右手建物2F。フラワーホテル近く等、他に2店舗あり。
 TEL:75552020
 営業時間:11:30～22:00
 定評のあるインド料理屋。外国人客も多い。

■ Oriental Treasure

ノミンデパートからサーカス宮殿に続く通り東側
 TEL:86089799(月～金)
 営業時間:11:00～22:00
 台湾料理メインで小籠包も楽しめる。

■ The BULL

国立大学向かいBLUE MONビル3F
 TEL:77100060
 営業時間:11:30～24:00
 しゃぶしゃぶメインのレストラン。牛、豚、羊、馬等のしゃぶしゃぶを楽しめ多くの客でにぎわう。

<洋食・カフェほか>

■ Bluefin Le Bistro

ドラマ劇場の右側
TEL:70002267
営業時間:10:00~24:00
外国人が多い。ビールの種類が豊富。

■ CODE Patisserie & Plus

ザナバザル美術館南向かい建物 1F
TEL:76060650
営業時間:08:00~22:00 (月~金)、09:00~22:00 (土・日)
スイーツのお店。カフェ・軽食も併設。

■Green Zone

ザナバザル美術館北隣り建物 1F
TEL: 328671
営業時間: 10:00~22:00 (月~土)、10:00~20:00 (日)
外国人が多く集まるカフェ。ランチ等での利用も可能。

■ Loving Hut

ザナバザル美術館南向かい、マックスタワー寄り建物1F
TEL:321396
営業時間:11:00~20:00 (月~金)、12:00~20:00 (土)
外国人が多く集まるベジタリアンのお店。様々なベジタリアンメニューを楽しめる。

■ Monet

スファートル広場東側セントラルタワー17F(最上階)。
TEL:310707
営業時間:12:00~23:00
高級フレンチレストランだがランチは比較的リーズナブル。UB市内が一望できる。

■ Rosewood

ロシア大使館南向かいの少し奥まった場所にある建物1F。「Rosewood」の看板が目印。
TEL:70000522
営業時間:07:30~21:30 (月~土)
外国人オーナーの洋風レストラン。パスタ等の味に定評あり、外国人客多い。肉やパンも提供している。

■ Veranda

チョイジンラマ寺院の東隣の建物2F。
TEL:330818
営業時間:12:00~24:00
イタリアンレストランで夜は常に客で賑わうため、大人数利用時は要予約。

9. 食器店

■Tescoma

Grand Office ビルの1階
TEL:70148286
チェコ製の食器等がある。

■Naran Shop

ソウル通り
TEL:319535, 328841
ドイツ製のMWFブランドの食器、フランスのARCブランドのカップと皿等、

■Nomin Holding

ノミンデパート4階
TEL:313232

■Sundav Plaza

第13地区
洋服(大人、子供)、家電、日用品等

■Narantuul市場

第13地区
洋服(大人、子供)、家電、日用品等基本的に何でもある。

10. 電気製品店

■Nomin Electronics店

国立デパートの3階
TEL:313232、75778888
営業時間:09:00~22:00
Toshiba, Sharp, Samsung, Philips, Panasonic等のブランド製品

■PC mall	ドイツ大使館の北側 TEL:70113536 営業時間:10:00~20:00 Sony, Panasonic, Dell, HP, Sharp, Philips等のブランド製品
■BSB Electronics	第13地区アマンホールタウン1階 TEL:77020021 営業時間:10:30~20:30 Sony, Panasonic, Dell, HP, Sharp, Philips等のブランド製品
■NEXT Electronics	ノミンデパートの西 TEL:324278 営業時間:10:00~20:00 Sony, Panasonic, Dell, HP, Sharp, Philips等のブランド製品
■IT Zone	スフバートル広場の東セントラルタワーの14階 TEL:77312424,323705 営業時間:10:00~20:00 Sony, Panasonic, Dell, HP, Sharp, Philips等のブランド製品

11. 家具店

■Misheel Expo Center	ハンウール地区 TEL:345054, 345055 営業時間:10:30~19:00 家具店が多数あるので、選択肢も多くある。
■Anun	ハンウール地区 TEL:343281, 88112994 営業時間:09:00~18:00 大きな家具店の一つで、Ikeaブランドの家具等がある。
■Top Mebel	Tokyo通り TEL:456155 営業時間:09:00~18:00 高級レベルの古典風な家具がある。
■Shine sonaolt	第13地区相撲宮殿の南にある。 TEL:463083 営業時間:10:30~19:30 色々なスタイルの家具がある。

12. 金融機関

■Trade Development Bank	チンギス広場から右方約200メートル TEL:19001977 (Call center) URL: http://www.tdbm.mn E-mail: sanal@tdbm.mn 海外送金、預金、外貨交換、クレジット・デビッドカード、T/C発行、Money Gram、E-Banking、ATM等。
■Golomt Bank	国会議事堂の南側、 TEL:70111646 (Call center) URL: http://www.golomtbank.com E-mail: mail@golomtbank.com 海外送金、預金、外貨交換、クレジット・デビッドカード、Western Union、ATM、E-Banking、全種の銀行ローン等がある。
■Khaan Bank	ソウル通り TEL:332333, 18001917 URL: http://www.khanbank.com E-mail: infokhan@khanbank.com 預金、E-banking、ローン、クレジットカード、ATM、海外送金、Western Union等がある。

■Khas Bank

チンギス広場東側
 TEL: 3181856 75771888、文化宮殿北側
 URL: <http://www.xacbank.mn> E-mail: bank@xacbank.mn
 預金、ローン、クレジットカード、海外送金、E-banking等がある。

13. レンタカー会社

■Bodiz Automotive

SIXTの正規代理店
 TEL: 318482、321026
 半日、1日間、1週間、1ヶ月のレンタルが可能。
 海外からSIXTを通じての予約が可能、モンゴルから海外でのレンタル予約が可能。

■Mustang LLC

空港、チンギスハーン・ホテルに受付デスクがある。
 TEL: 70131555
 半日、1日間、1週間、1ヶ月のレンタルが可能。
 預金、ローン、クレジットカード、海外送金、E-banking等がある。

■Jeep service

空港、チンギスハーン・ホテルに受付デスクがある。
 TEL: 70185669
 半日、1日間、1週間、1ヶ月のレンタルが可能。
 主に4WDのレンタル。

14. 自動車修理工場

■Auto Plaza

ゾーンアイルの西南側
 TEL: 354920、354023
 URL: <http://www.autoplaza.mn>
 輸入新車、中古車の購入、部品注文、ボディ・エンジン等の修理が可能。

■Monnis International

チンギスハーン通り-15
 TEL: 311687
 URL: <http://www.monnis.com> E-mail: monnis@monnis.com info@monnis.com
 Nissan車の購入、修理、部品注文等が可能。

■Mongolia Star Melshers

第3発電所手前
 TEL: 70148141、U営業時間: 08:00-17:00
 URL: <http://www.msm.mn>
 Benz車の購入、部品注文、修理が可能。

■Doctor Auto Center

第2産婦人科医の北にある。
 TEL: 318375、18001937
 日本・韓国製車両の修理、部品注文

■Forward Motors

バヤンゴル区、第10地区、Erelビル
 TEL: 70180252、70180556 U営業時間: 09:30-18:30 月曜日休み
 日本・韓国製車両の修理、部品注文

■ZigZag Auto Center

Advice-UBDepartment前、本店—第2産婦人科医
 TEL: 18001937(advice) 91103103-call center U営業時間: 09:30-19:00
 日本・韓国製車両の修理、部品注文

■Bodiz Automotive

Narnii zam 14, P.O.Box 48
 TEL: 318482
 トヨタの部品注文、修理等

15. 電話会社

<固定電話会社>

■Mongol Telecom

チンギス広場の西南側
 TEL: 70008000 U営業時: 平日09:00-20:00 休日11:00-17:00

URL: <http://www.telecommongolia.mn>

固定電話の唯一の会社。固定電話が必要な場合、本社に申請する。

<携帯電話会社>

■Mobicom

中央郵便局の裏側

TEL: 75759922, 2222 U営業時間: 09:00-18:00

URL: <http://www.mobicom.mn/index>

GSMネットワーク。携帯電話機は同社でも購入できる。番号は前払い式とプリペイド式がある。

■Skytel

Bayanqolホテルの隣

TEL: 319191, 91120202 U営業時間: 08:30-20:30

URL: <http://www.skytel.mn/en>

SDMAネットワーク。携帯電話機は同社でも購入できる。番号は前払い式とプリペイド式がある。

■Unitel

Central Towerビル内、8階

TEL: 7778888, 7778080, 1414

URL: <http://www.unitel.mn/en> U営業時間: 09:00-18:00

GSMネットワーク。番号は前払い式とプリペイド式がある。

■G Mobile

Mobicom本社の隣

TEL: 98103636, 70113636

URL: <http://www.g-mobile.mn/en> U営業時間: 09:00-18:00

SDMA2000ネットワーク。番号は前払い式とプリペイド式がある。

16. 国際宅配サービス会社

■DHL

第1病院の南側

TEL: 310919

URL: <http://www.dhl.com> U営業時間: 09:00-18:00 土曜日: 09:00-13:00

日本への発送の場合、0.5キロ~30キロの書類と荷物は67\$~499\$、

■EMS

TEL: 18001613

日本への発送の場合、0.1キロ~0.5キロ書類は21\$~37\$、0.25~2キロ小包33\$~68\$

2キロ~20キロ荷物は67\$~247\$ U営業時間: 08:00-20:00, 休日: 09:00-15:00

URL: <http://www.mongolpost.mn>

17. 教育機関

<外国人学校>

■International School of Ulaanbaatar

Khan-Uul district, Olympic street, Four Seasons Garden

TEL: 70105010, 70160010 FAX: 70105011

URL: <http://www.isumongolia.edu.mn> E-mail: int.school.ub@gmail.mn

授業料: 年間11,995~21,984, 米ドル。

■American School of Ulaanbaatar (ASU)

Khan-Uul district, Zaisan Hill 11, ASU.

TEL: 348888, 345359, 341092 U営業時間: 08:00-17:00

URL: <http://www.asu.edu.mn> E-mail: managingdirector@asu.edu.mn

授業料: 年間8,000~10,000米ドル。

■British School 9,000,000 23,000,000

Khan-Uul district, 4th khoroo Artsat, Ulaanbaatar-17043

TEL: 347788

URL: <http://www.britishschool.edu.mn>

授業料: 年間9,000,000Tq~23,000,000Tq。

■Ulaanbaatar international Elite School

Sukhbaatar district, 2nd khoroo Seoul street

TEL: 70105010 FAX: 70105011

URL: <http://www.elite.edu.mn> E-mail: info@elite.edu.mn

授業料: 年間8,064,000Tq~10,752,000Tq

■Hobby School

Sukhbaatar district 8th khoroo

TEL: 323739, 323039 FAX: 330400

URL: <http://www.hobbyschool.org> E-mail: hobby@mongol.net, hobby-school.mn

授業料: 年間5,000,000Tq~10,000,000Tq

■Orchlon School

Sukhbaatar district ,中央水族館の北
 TEL:350234.77113322
 URL: <http://www.orchlon.mn>
 授業料:年間7,000,000Tg~13,000,000Tg

18.図書館

■国立中央図書館

ソウル通り
 TEL:70112396,70115705
 E-mail: nat.lib@magicnet.mn
 利用時間:09:00~19:00
 モンゴル語、英語、フランス語、ドイツ語、日本語、中国語

■ウランバートル市図書館

Sukhbaatar District, 2-th khoroo
 TEL:70115706
 E-mail: mcl-ub@magicnet.mn
 利用時間:月一木:09:00~20:00、金、土:10:00-19:00

■モンゴル日本人材開発センター内図書館

TEL:310879
 E-mail: library@japan-center.mn
 利用時間:月 14:00~18:00、火~金 10:30~18:00

19.新聞・雑誌の購読

■OCS

URL: <http://www.ocs.co.jp>

■UB Post

The UB Post, Mongol News Company Building, Juulchnii Street, Ulaanbaatar 15172
 TEL:+976 8806 7337
 URL: <http://theubpost.mn/>
 料金:68,900Tg

■Mongol Messenger

MONTSAME News Agency Jigjid St, 8 Ulaan Baatar POB 1541 Mongolia
 TEL:325512, 266740
 URL: <http://www.montsame.gov.mn/en/>
 料金:年間48,000tg

■モンゴル通信

MONTSAME News Agency Jigjid St, 8 Ulaan Baatar POB 1541 Mongolia
 TEL:327294
 URL: <http://jp.montsame.mn/>
 料金:年間 52,000tg、オンライン 100\$

20.スポーツ施設

<ゴルフ>

■UB Hotel Golf

UB2 hotelとなりTerelj
 TEL:322509 99098723 FAX:324485
 URL: <http://www.ubhotel.mn> E-mail: info@ubhotel.mn ub-travel@ubhotel.mn
 ゴルフ場はウランバートル市から68キロ離れたところ。9ホールで40,000Tg、18ホールでは60,000Tg。

<テニス、フィットネス>

■Orchlon フィットネスクラブ

スフバートル区、オルチロン学校内
 TEL:354326,354327 利用時間:平日:07:00-22:00、休日:10:00-20:00
 URL: www.orchlonclub.mn E-mail: orchlonclub@mcs.mn

■SS Club フィットネスクラブ

ハンオール区、スタジアムの近く
 TEL:342269,345664,94008080
 URL: www.ssclub.mn E-mail: info@ss-club.mn

■Bella Health Club フィットネスクラブ

ザイサン丘の近くのBella Vista 住宅区内,
 TEL:77202224 利用時間:平日07:00-22:00、休日:10:00-20:00
 外国人がよく使うクラブ。サウナ、エアロビクス、マッサージ付。外国人料金は1日30,000Tg

■Blue Sky blissフィットネスクラブ

チンギス広場の南のブルースカイトワー内
TEL:70100505、everyday:06:00-21:30
スパ、サウナ、ジャグジ、プール。

21.旅行代理店

■Juulchin

Bavangolホテルの裏側
TEL:70009970 FAX:320246
URL:<http://www.iuulchin.com>

■New Juulchin

Sukhbaatar district. 結婚式宮殿の隣
TEL:319401 FAX:319402
URL:<http://www.iuulchinworld.mn/main.html>

■Kaze Travel

平和橋を渡って、南に向いていく道路の右側。
TEL:70076 020FAX:346028
URL:<http://www.kaze-travel.co.jp>